

脳神経外科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的		
<p>脳神経外科専門医の指導のもとに脳神経外科的疾患に関する基本的な知識, 手技と診断, 治療の実際を習得する。</p> <p>救命救急センターの脳神経外科的な救急患者を中心に, プライマリー・ケアから初期診断, 治療, ICUでの集中管理, その後の患者管理を一貫して習得する。</p>		
2 脳神経外科研修の特徴		
<p>当院では救急疾患を中心として, 研修医に救命救急センターから, 実際に指導医とともに診療を担当する。又, 手術に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 脳卒中の外科 <ul style="list-style-type: none"> クモ膜下出血の外科ー脳動脈瘤根治術, 脳動静脈奇形の外科, 脳出血の外科 * 重症頭部外傷の外科 <ul style="list-style-type: none"> 外来での穿頭術, 開頭血腫除去術, 低体温療法, ICP monitor * 小児の脳外科的救急 <ul style="list-style-type: none"> 急性硬膜下血腫, 先天性奇形(二分脊椎, 急性水頭症)の治療 * 深部脳腫瘍にたいするナビゲーターを併用の手術 <ul style="list-style-type: none"> X-ナイフの治療も可能 <p>従って, 救命救急センターからの救急患者を中心に初期診断, 治療の実際を研修する。救急患者を中心とした急性期の重症患者治療および, ICUでの脳圧管理, 全身管理, 低体温療法が特徴である。</p>		
3 研修の目標・目的達成のための方略・方法		
<p>指導医の指導下に研修を行う。</p>		
4 目標達成の評価		
<p>当院作成の評価表に研修医評価及び経験症例数を記入し, 指導医の評価を受ける。ローテーション終了時において指導医や看護部による総合的評価を受ける。</p>		
5 検査		
<p>CT, MRI, SPECT, DSAなどの読影, 意義の習熟</p>		
6 カンファランス		
<p>毎週水曜日 放射線科医と回診カンファランス 月1回火曜日 抄読会</p>		
7 週間スケジュール		
	午前	午後
月	毎朝 救命救急センター 回診 毎朝 脳神経外科病棟 回診	
火	毎朝 救命救急センター 回診 毎朝 脳神経外科病棟 回診	
水	毎朝 救命救急センター 回診 毎朝 脳神経外科病棟 回診	放射線科医と回診カンファランス
木	毎朝 救命救急センター 回診 毎朝 脳神経外科病棟 回診	
金	毎朝 救命救急センター 回診 毎朝 脳神経外科病棟 回診	